

ぜん ぎょう じ
善巧寺報

2 月号

月刊 ● 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚



才市 角のある肖像画

ゲイトウェイ 妙好人

～ 石見の才市 ～

▼二〇一九年二月一日▲

定例法座

毎月 十一日

◎二月十一日(祝)午後二時

～四時

於 善巧寺 法輪會館

「佐賀のがばいばあちゃん」

本年から『寺報』は「妙好人」をテーマに連載が始まりました。漫才師の島田洋七さんが少年時代に育てて頂いたおばあさんについて執筆された『佐賀のがばいばあちゃん』もまた妙好人と言えるかもしれません。貧しくともそれを苦としない明るい生き方にハッとさせられる方も多く、一躍ベストセラーになりました。がばいばあちゃんこと、徳永サノさんはお寺でご法話をよく聴聞されていたそうで、その言動からは世間の価値観に盲従しない自由な生き方を学ぶことが出来ます。今回は、がばいばあちゃんの言動に仏教の考え方を見ていきたいと思います。

※今回は法輪會館にて行います。

みほとけ会月例会

＊ポジティブプロジェクト＊

Project

◎三月三日(日)午後一時開場

～二時四十五分

於 Café Luana 二階

(東急世田谷線宮の坂駅下車徒歩一分)

会費 五〇〇円

『本来差別なし』

大乘仏教では「男・女」「私・あなた」「生・死」など様々な差異は本来存在しないと説きます。ために「私」を例にとれば、「私」とは、今までに培った様々な要素で構成されているものであり、新たな経験を積むことによつて日々刻々と変化していく、つまり、これが私であると言えるような確固たる「私」は存在しないわけです。そのような「私」が眺めている世界もまた時々刻々と変化していきます。不安定なものを安定していると錯覚し、それにとらわれこだわる所に苦しみの原因があるとお釈迦さまは説かれたのでした。

◆◆春日部だより◆◆

◎昨年末に流行したインフルエンザがまた流行しているようです。通勤通学の電車内や職場学校で感染するケースが多いようです。手洗いうがいなどもむろんですが、抵抗力をつけるために栄養を摂って身体を冷やさないように服装や暖房にも気をつけるよう心掛けたいものです。かくいう私も、研修会に参加中、悪寒がして熱っぽかったので途中退席いたしました。病院で検査したところ、インフルエンザではなくただの風邪でした。原因が判明すると心が軽くなります。病の原因を教えて下さるのはお医者さまですが、苦悩の原因を教えて下さるのはお釈迦さまですね。原因がわかれば対処も

出来る。心構えも出来る。そんな当然の営みを伝えているのが、仏教であります。親鸞聖人はことに、私たちがいかなる状況状態であろうとも決して捨てないという仏の大慈悲を伝えて下さったのでした。

◎一月十六日は親鸞聖人のご命日。これに併せて、京都の本願寺では十六日までの七日間、御正忌報恩講が勤修されます。期間中は、せめてものたしなみとして、肉食をせず精進の食事を摂ります。写真



れます。期間中は、せめてものたしなみとして、肉食をせず精進の食事を摂ります。写真

は築地本願寺の精進弁当。お肉やお魚は入っていませんが、結構お腹いっぱいになります。築地本願寺の報恩講は毎年十一月十一日〜十六日までです。



◎昨年末の除夜会(午後四時〜、そして三が日の元旦会(午前八時〜)お参り下さった皆様ありがとうございます。毎年皆勤される方もいらっしゃいます。全日程お参りされた方には豪華?記念品も差し上げております。今年も行いますので、どうぞご参拝下さい。

